

スリナム月間情勢報告 (2024年4月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

4月のスリナムの経済、外交月間報告は以下の通り。

1 経済

- (3日報道) マレーシアのペトロナス社は、52鉱区にて新たに坑井を掘削予定であると発表。
- (8日報道) 米州開発銀行(IDB)は、スリナムの首都パラマリボにおける歴史的建造物の修復や公共スペースの整備、ユネスコの世界遺産登録の確保等を目指すパラマリボ都市再生事業に3,000万米ドルの融資を承認。
- (19日報道) サントキ大統領は中国を訪問し、通信会社のファーウェイ社本社を訪問。同社はスリナムのICT市場に長期的な投資を続ける意向を表明。
- (22日報道) Staatsolie社は英地質コンサルタント会社GeoPartners社及び蘭TROIS Geoconsulting社と、スリナム沖合深海鉱区における油田の分布に関する知識向上に向けたプロジェクトに関する契約を締結。
- (24日報道) スリナムとカリコム開発基金(CDF)は、スリナム内陸部の生活水準向上を目的に、遠隔地の村落における電力供給の持続可能な開発のため、1,000万米ドルの譲許的融資及びプロジェクト管理や教育、再生可能エネルギー・システムの導入準備等のための49万米ドルの無償資金協力に関する協定を締結。

2 外交

- (4日、10日、11日、12日、13日、14日、16日、17日報道) サントキ大統領は、習近平国家主席の招待に応じて11～17日にかけて中国を公式訪問。習近平国家主席、李強国务院総理及び王滬寧中国人民政治協商会議全国委員会主席と二国間会談を実施し、両国は共同コミュニケを発表。同コミュニケにおいて、スリナムは「一つの中国」原則を引き続き支持することを表明した他、両国はスリナムの債務再編に関する協定及び署名の最終調整を行うことで合意。さらに、サントキ大統領と習近平国家主席は複数の協力文書に署名。
- (14日報道) 米国は、1982年に反政権者15人への拷問・殺害に関与した罪で懲役20年の判決が下され現在逃亡中のボータッセ元大統領に対し、米国への入国を禁じる制裁措置を発表。
- (30日報道) ラムディン外相はフランスを公式訪問し、セジュールネ仏外相と

会談を実施。ハイチ情勢や対中・対米関係等に言及した他、両国は、経済、環境・気候変動、教育等に関する領土・地域協力を監督する運営委員会を設置することで合意し、協定に調印。